

はるかにくす

No.115 2021.7
ISSN : 0287-8194

目次

通勤時間と読書（上田 悦子）	1
図書館イベント紹介	2-3
電子コンテンツを利用しよう！	4-5
君に薦める一冊の本（白井 慎一）	6
Library Supporter News	7
図書館からのお知らせ	8



通勤時間と読書

ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科

教授 上田 悦子

大阪工業大学に着任して6年が経ちました。最初の2年間は大宮キャンパス、その後梅田キャンパスが拠点となります。前職時代の車通勤が電車通勤となり、ワクワクしたことを覚えています。今ではワクワク感こそ無くなりましたが、梅田キャンパスに通うようになって途中乗り換えがなくなったこともあり、ある程度まとまった時間が取れる貴重なひとときになっています。

できる人の時間管理術という類の各種記事では「このようなスキマ時間を活用して、その日実行すべきタスクの整理やメールの返信、論文チェックやアイデア創出などをすべき」とあり、まずはやってみることに。しかし、ずっと仕事のことがばかりは続かず、結局SNSをぼーっと眺めて無為に時間だけが流れる日々となっていました。

やっぱりできる人にはなれんわと諦め、せめて本くらい読もうと文庫本をバッグに入れて電車に乗るようになりました。最初は、有川浩の「阪急電車」だったと記憶しています。面白かったので、その後引き続いて彼女の作品を読み耽り、飽きた頃に毎年ノーベル賞の頃に話題になる村上春樹も読んでみようとして「海辺のカフカ」を手に取り、その後しばらく彼の作品を読み、また飽きて……を繰り返すようになりました。最初のうちは「紙の本じゃないと読んだ気にならんわー」って思っていたのですが、本を持ち歩くことがだんだん億劫になり電子書籍に移行しました。しばらくKindleを持ち運んだものの、片手で持つにはちょっと大きくて馴染まず、

つい最近、スマホのKindleアプリへと移行しました。これがびっくりするほど快適で、通勤読書形態はやっと確定できそうです。

小説を読むと自分が主人公になりその世界に没入できるので、経験できないような人生や生活を仮想体験したり、こんな時私だったらどうするだろうとドキドキしたりと、楽しみは尽きません。それゆえに、読了後に次は何を？というのは結構色々悩みます。ブログや購入サイトのお勧めも参考にしますが、今のところ「本屋大賞」で上位に挙げられた本を手に取り、そこから作家を深掘りしながら広げていく選び方がメインです。読書における最近の出会いでは、4年前に沖方丁の「天地明察」を読んだことをきっかけに、これまで避けていた時代小説に手を出すようになったことがあります。この本も、本屋大賞受賞と直木賞候補だったし、映画化もされたし読んでみようかしら？くらいのミーハーな気持ちで手に取ったところ、すっかりハマってしまい「時代小説意外に面白いやん！」となって今に至ります。これまで全く興味のなかった歴史の世界をちょっと覗いてみようという気にもなり、視野が少し広がった気がしています。

学生の皆さんは、現在（2021年6月14日）オンライン授業中心で通学の機会が減っていますが、対面授業が再開され電車通学生活が戻った時には、ぜひ「電車で読書」やってみてください。きっと新しい発見ありますよ！

特集展示



各キャンパスの図書館内展示スペースでは、それぞれ旬のテーマを取り上げた特集展示を行っています。皆さんに関心を持ってもらえるように、資格取得をはじめ就活、学生生活に役立つものや話題の本など、定期的にテーマを変えて展示していますので、ぜひチェックしてみてください。

大宮本館



梅田分館



枚方分館

図書館では、年間を通して様々な企画を行っています。開催時期や詳細はホームページ等でお知らせしています。

※写真は全て2021年4月末時点のものです。

図書館イベント紹介

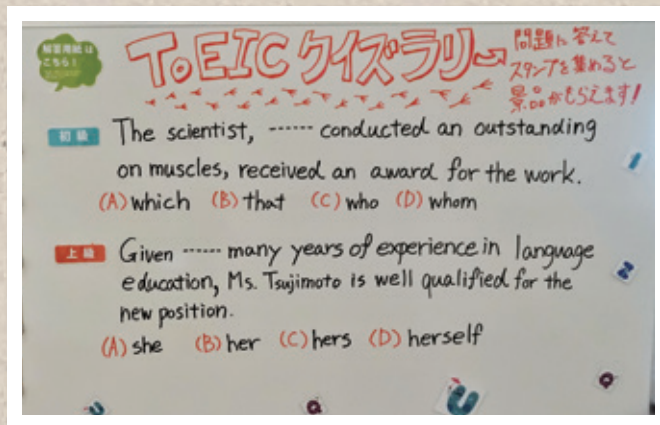
英語企画



出題される英語の問題に答えたり、英語関係の資料を借りたりしてスタンプを集める企画です。

問題ごとに丁寧な解説があり、英語が好きな人だけでなく、自信のない人もクイズ感覚で楽しみながら英語の実力アップを目指す企画です。

※画像の問題の答えは下にあります。



過去に出題された問題

問題の答え 初級(C)who 上級(B)her

選書フェア

毎年秋に開催しているイベントで、例年は特設会場に陳列された約1,000冊の本の中から、皆さんが図書館で購入してほしいと思うものを、実際に手に取って中身を見て選んでもらいます。昨年度はWebで開催しました。購入後は皆さんに関心を持っていただけるように、各図書館で展示します。



枚方分館



大宮本館



梅田分館

工大ウォッチング大賞



工大ウォッチング大賞とは、学生の皆さんが思い描く「工大」のイメージを若い感性と自由な発想で表現してもらってデザインコンテストです。2007年度から開催しており、2020年度は「大阪工業大学」をテーマに作品を募集した結果、本館・分館合わせて25件の応募がありました。2021年度は図書館を紹介する「ポスター」を募集します。Webの登録フォームから気軽に応募ができますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



工大ウォッチング大賞
2021年度

あなたの作品が図書館に提示されるかも！

図書館の「ポスター」を作ってみませんか？

- 募集作品 ⇒ シリウス、SDGsなどのコーナー紹介ポスター、図書館、ラーニング・コモンズ、AV室などの紹介ポスター
- 作品規格 ⇒ データのみ（サイズはA4またはA3、縦・横は自由）、8MBまでとし、拡張子はjpg、png、pdfのいずれか。
- 応募資格 ⇒ 本学の在学生（学部・大学院）
- 申込方法 ⇒ 図書館HPの応募フォームから。

入賞者には図書カード、応募者全員に参加賞あり！

募集期間 ⇒ **2021年6月17日（水）～10月1日（金）**

お問い合わせ

図書館大宮本館3階 メインカウンター	☎ 06-6954-4108
図書館梅田分館4階 支店カウンター	☎ 06-6147-6295
図書館枚方分館3階 カウンター	☎ 072-866-5312

大宮本館 8号館2階廊下

君に薦める一冊の本



「君に薦める一冊の本」とは、先生方から学生への推薦図書のことです。先生方の心の琴線に触れた図書や学生生活を送る上で役立つ図書、教養を深める図書など様々なジャンルの図書を推薦していただいています。先生方から寄せられた本の紹介メッセージをまとめた冊子を発行しています。（写真右）勉強やクラブ・サークル活動など、忙しい学生生活の合間にぜひ手に取って読んでみてください。



大宮本館



梅田分館



枚方分館



電子コンテンツ

Webで気軽に利用できるコンテンツを提供しています。レポートや

本を探すならこれ!



図書館OPAC

本学に所蔵されている図書を検索できるデータベースです。タブを切り替えることによって、全国の大学図書館の所蔵データを横断検索することが可能です。(※1)



上記の図書館OPACと同様に全国の大学図書館等が所蔵する本を検索できるデータベースです。学内からアクセスすると、本学所蔵の図書がある場合は所蔵館の先頭に表示されます。



学術情報に特化した電子ブック(和書)の閲覧が可能です。約1,200タイトルあり、出版年やジャンルでの絞り込み検索ができます。



英語の多読シリーズや、様々なカテゴリの図書の全文閲覧が可能です。洋書だけでなく、日本語の本含め、約4,100タイトルあります。



言葉の検索にはこれ!



収録コンテンツが70以上の辞事典・叢書・ニュース・学術サイトURL集などを集積した知識データベースです。言葉を調べるのに適しており、全ての辞事典を横断検索できます。



これ以外にも図書館では電子コンテンツを提供しています!

その他データベース・電子ジャーナルについては、



データベース

図書館ホームページをご覧ください!

電子ジャーナル



VPN

一部例外を除き、電子コンテンツは学内インターネットのみ利用が可能です。学外からの利用はVPN、VDIをご利用ください。



VDI

を利用しよう!



論文作成など、用途に沿った電子コンテンツを使いこなしましょう!

雑誌論文を探すならこれ!


大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
学術機関リポジトリ

本学発行の紀要や学位論文を順次公開しています。一部を除き、全文の閲覧が可能です。





科学技術（人文科学・社会科学を含む）情報に関する、国内の1,500を超える発行機関が、3,000誌以上のジャーナルや会議録等の刊行物を公開しています。契約雑誌（化学工学論文集）とオープンアクセス（※2）のものは閲覧が可能です。



ScienceDirect

エルゼビア社が発行する科学技術分野の洋雑誌論文が検索できます。一部契約雑誌の全文と洋書120タイトルの閲覧が可能です。



Scopus

世界最大級の抄録・引用文献データベースです。海外の文献や英語で書かれた文献の検索にとっても便利です。その論文が何回引用されたか、評価指数が分かります。




日本の論文をさがす
Articles

日本の学術論文情報を検索できるデータベースです。オープンアクセス（※2）になっている論文は、全文閲覧が可能です。検索した論文について、参考文献と被引用文献が表示されますので、引用関係をたどることが可能です。



科学技術文献検索サービス


国内外の文献情報を検索できる日本最大級の科学技術文献データベースです。海外文献に関しては、日本語による抄録（要約文）も掲載しているため、日本語のキーワードから海外文献を検索することもできます。



※1. 図書館OPACの使い方について、動画を公開しています。こちらをご覧ください！
 （動画は学内でのみ視聴が可能です）



※2. オープンアクセスとは…無料で閲覧でき、著者が設定した条件で再利用ができるものです

君に薦める 一冊の本



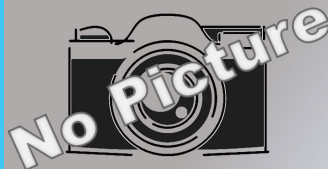
工学部
一般教育科 准教授
白井 慎一

科学的な考え方とはどういうものかについて、優れた随筆家でもある物理学者の中谷宇吉郎によって、平易でありながら明晰な文章で語られています。ほとんど数式はありませんので、どなたでも興味を持って手軽に読んでいただけるのではないかと思います。

一部分ですが本書の内容から印象に残った話題をご紹介します。地球の断面が円かどうか、彗星の軌道が楕円か放物線か（第三章「測定の精度」）、科学が発達してもテレビ塔から落とした一枚の紙の行方が予測できない話（第五章）、茶碗の曲線の話（付録）などの面白い例をあげながら、科学が取り扱える領域とそうでない領域、本質と誤差、あるいは自然と人間の微妙な境界について語られています。私たちが普段あまり意識していない、そういった自然との微妙な境界から何か新しいものが生まれてくる可能性にもわくわくさせられます。それ以外にも、科学と数学との関係や、科学と生命現象の関係についても分かりやすく説明されています。ちなみに本書で一か所だけ数式が並んでいるページがあるのですが（第十章）、実験と理論の連携を見事に示しています。

私自身の本書との出会いといえば、（実は科学とは直接関係ないのですが）学生時代に夏目漱石の小説から読み始めて、寺田寅彦の随筆を知り、そして著

『科学の方法』



【大宮本館】

配置場所 | 工大君に薦める

請求記号 | 404IIN

資料ID | 91020175

著者名 | 中谷 宇吉郎 著

出版社 | 岩波書店

出版年 | 1958年

者の随筆「雪」を経て本書に辿り着いたと記憶しています。本書を手にとられた方でそれらを未読の方は、周辺の文学的な系譜を追ってみるのも楽しいかもしれません。あるいは、本書が出版された時代から現代へと続く科学論の変遷について調べてみても面白いかもしれません。

さて、この文章を書いている時点（令和3年5月現在）では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は収まる気配もないのですが、世の中では社会経済活動と科学的な感染対策とのバランスについて議論が続けられています。あるいは、私たちが日々受け取る膨大な情報の中には、一見もっともらしくても詐欺まがいの疑似科学に基づいたものもあり、そういったものを見抜く力が必要とされています。現代社会で生きている以上は誰であれ、科学あるいは科学的なものの見方と全く無縁でいることはできないでしょう。本書はそのようなことを考える際にも、ひとつのヒントを与えてくれるのではないのでしょうか。

名著といわれる本は何度読み返してもその度に新しい発見があるものです。今回この文章を書くために読み返してみましたがその通りで、いろいろな想像をかきたてられた一冊でした。

Library Supporter News

ライブラリーサポーターとは、より魅力的な図書館にすることを目的とした学生によるボランティア活動です。

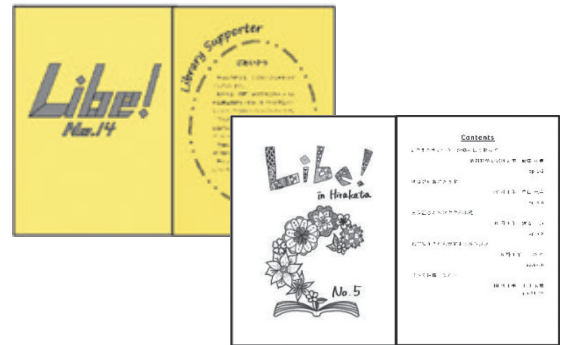
ライブラリーサポーターの主な活動内容は、書架整理や配架、定期的に発行される図書館報「ぱびろにくす」に掲載する200字書評への寄稿、図書館で購入する本の選書、選書した本の展示やPOPの作成です。他にもイベントの企画・運営、フリーペーパーの発行、しおりの作成など、各館で様々な活動を行っています。また、活動状況によりアチーブメントシート（業績証明書）が交付されます。



サポーター展示(枚方分館)



新しい展示づくり(大宮本館)



フリーペーパー『Libel!』(左:大宮 右:枚方)

200字書評
図書館で活動中のライブラリーサポーターが、原稿用紙半分で皆さんにおすすめしたい本を紹介します。図書館で所蔵していますので、手に取って読んでください。

ライブラリーサポーター募集中

ライブラリーサポーターのメンバーを随時募集しています。活動に興味のある方は各館の図書館スタッフへお気軽にお尋ねください！また、My Libraryの「サポーター応募フォーム」からも応募可能です。

大宮本館 3階 メインカウンター
☎ 06-6954-4108
梅田分館 6階 支援カウンター
☎ 06-6147-6295
枚方分館 3階 カウンター
☎ 072-866-5312



『2・5次元クロニクル2017-2020 合わせ鏡のプラネタリウム』

上田麻由子 筑摩書房 2020

この図書は、著者が実際に取材した2・5次元舞台の記事をまとめたものとなっている。記者目線からの演劇を感じることはめったにない機会だろう。

戯曲の構成やキャスト、舞台演出にも言及されているため、観劇したときに近い感動を味わうことができた。2・5次元舞台や演劇に少しでも興味があれば、隅々まで楽しんで読めるだろう。

工学部 建築学科 3年 山田朱音さん



大宮本館

配置場所：工大サポーター展示

請求記号：933.7ⅡB

資料ID：91210422

工学部 建築学科 4年 崎中展幸さん

『パイは小さな秘密を運ぶ』
アラン・ブラッドリー 東京創元社 2009
科学が謎を解き明かすというテーマは、推理小説で良く使われる。しかし、その謎を解くのが十一歳の少女というシチュエーションは珍しい。そして本書はそんな珍しい作品だ。
「こんな十一歳がいるか!」という型破りな少女・フレヴィアが主人公の本作は、子どもながら好奇心を描いた冒険小説と言ってもいいかもしれない。けれど年相応な子どもの言動や思考はどこか懐かしく、ノスタルジックな雰囲気を感じさせる作品である。



大宮本館

配置場所：工大サポーター展示

請求記号：772.1ⅢU

資料ID：91201640

図書館からのお知らせ

2020年度 図書館利用状況

大宮本館・梅田分館・枚方分館の利用統計は、右表のとおりです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本学学生と教職員のみ利用に制限した一年となりました。

また、オンライン授業が主体となり、学生の登学の機会も減り、入館者数・貸出者数は大幅に減少しました。

このような中、利用者の利便性を図って、実際に来館しなくても図書の貸出・返却が出来るように、「郵送貸出・返却サービス」を実施し、学生が図書を閲覧する機会を維持できるような取り組みを行いました。また、混雑を緩和するため、「カウンター受取予約サービス」を実施しました。3館合わせて「郵送貸出・返却サービス」は447冊、「カウンター受取予約サービス」は324冊の申し込みがありました。

入館者数等（2019・2018年度は学外利用者含む）

区分	大宮本館	梅田分館	枚方分館	合計	
開館日数	2020年度	242日	245日	245日	—
	2019年度	284日	284日	282日	—
	2018年度	283日	279日	280日	—
入館者数	2020年度	8,639人	12,277人	5,002人	25,918人
	2019年度	58,703人	78,523人	27,713人	164,939人
	2018年度	67,012人	66,611人	27,894人	161,517人
1日あたりの平均入館者数	2020年度	36人	50人	20人	106人
	2019年度	207人	276人	98人	581人
	2018年度	237人	239人	100人	576人
貸出者数	2020年度	3,623人	1,021人	1,668人	6,312人
	2019年度	10,423人	3,652人	5,106人	19,181人
	2018年度	10,928人	3,219人	5,041人	19,188人
貸出冊数	2020年度	7,375冊	2,092冊	3,345冊	12,812冊
	2019年度	19,642冊	6,158冊	9,160冊	34,960冊
	2018年度	21,242冊	5,350冊	8,884冊	35,476冊

2021年度 図書館活動予定

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々なイベントがやむなく中止となりましたが、図書館では新たな取り組みとして、「工大ウォッチング大賞」のHPでの応募受付や「Web de選書フェア」の開催、Google Classroomを使用した「目指せ！数学クイズの達人2020」など、WEBを活用したイベントを実施しました。

2021年度も「工大ウォッチング大賞」の作品募集をHPで実施したり、読みたい本をメールで予約できる「カウンター受取予約サービス」など、図書館内の混雑緩和に向けた取り組みを継続いたします。詳細は、下記の図書館HPをご覧ください。



工大ウォッチング大賞
https://ufinity.lib.oit.ac.jp/?page_id=1198

カウンター受取予約サービス
https://ufinity.lib.oit.ac.jp/?page_id=1171



また、図書館内では、利用後の自習席やOPAC検索端末、自習に使用された図書など随時消毒を行い、安心して図書館をご利用いただけるような環境づくりを実施しています。図書館利用の際は、引き続きマスクの着用と検温・手指消毒にご協力をお願いいたします。

選書フェア
2020年度



数学クイズの達人
2020年度

